

中小の運送会社が企業連合を組んで宅配サービスを提供する「ラストワンマイル協同組合」（東京都府中市）は配達地域を今月から全国に拡大する。これまで首都圏に限られていたが、宅配大手の共同出資企業に委託して地方へ配達する。同組合は人手不足の宅配大手が引き受けない規格外の荷物などの受け皿となっており、サービス水準を高め利用増を促す。

中小運送業の協同組合

携した。コラボ社にはヤマトホールディングス5県を配達地域としてき（HD）や日本通運、佐川た。これを全国に広げる急便、セイノーHD、福こと、荷主の様々な山通運など大手・有力ニーズに応えやすくなる。運送会社が出資している。

大手の人手不足に対応

荷物を追跡できるようにするなど、宅配大手並みのサービスを実現する。全国配達や配送管理サービスを充実させることで荷主企業の獲得に弾みをつける。ラストワンマイル協同組合はおもに、個人向けや企業向けに通販売を手掛けるメーカーや卸などを顧客としている。全国配送を手掛けることで、契約社数を現在の10社弱から50社まで増やす。

厚生労働省が発表した2018年11月の有効求人倍率でドライバーが3倍と高止まりするなか、宅配・物流業界は深刻な人手不足に直面している。このためヤマトなど宅配大手は従業員を引き留めるための働き方改革に着手。一方で値上げや荷物の引き受けを抑えることで増えすぎた荷物もあり宅配大手がサービス外とする3辺合計が250センチの大型サイズの荷物も受託している。家具や自転車などを販売する宅配サービスが登場している。通見込まれる。

大手のアマゾンジャパン（東京・目黒）は、かさばききれない荷物を組合に引き受けてもらえる面がある。

配達先、全国に拡大